

短期課程

介護士を目指すなら

6か月
定員20人

介護サービス科



特色

- ◆ 令和6年4月から、介護福祉士実務者研修のコースに変更！
- ◆ 「介護福祉士実務者研修」とは、介護職員初任者研修に比べて、より実践的な知識・技術を学ぶ研修です。なお、介護福祉士実務者研修修了+実務経験3年で、介護福祉士国家資格の受験資格が得られます。
- ◆ 介護に係る職員のための心構えや、体に負担をかけない介助、食事や入浴等、生活をサポートするための技術・知識を学びます。
- ◆ 施設実習では、要介護高齢者、障がい者等幅広い介護サービス利用者との関わりをもち、現場における体験学習を豊富にして、サービス提供全般における介護の職務の理解を深めます。

実習環境

- ◆ 介護福祉士実務者養成施設です。
- ◆ 介護サービス科専用棟で、教室、実習場は空調設備完備です。

就職状況

- ◆ 介護保険制度に基づく特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療型施設等で多くの修了生が働いています。

指導員から

実践さながらの演習、施設での実習など、現場での即戦力となれるよう、全力でサポートします。介護職での就職を希望している方、応募をお待ちしています。

訓練期間	定員	課程	応募対象年齢 (令和7年4月1日現在)	実習教材費
6か月	20人	短期課程	年齢制限なし	40,000円

訓練目標	介護サービスに従事しようとする者を対象とした基礎的な職業教育として、対人理解や対人援助の基本的な視点と理念、専門的な職業人としての職務にあたる上での基本的姿勢、基礎的な知識・技能を習得させる。
仕上がり像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉の知識を有し、利用者の支援ができる ・ 介護の知識・技能を有し、利用者の自立支援ができる ・ 介護の知識・技能を有し、他職種との連携を持ちながら介護業務ができる ・ 日常生活に関する知識・技能を有し、利用者の生活支援ができる ・ 介護施設における介護保険の知識を有し、介護事務の業務ができる
資格取得目標 《 》内は受験料 で別途必要です	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護福祉士実務者研修 ・ 日本情報処理検定協会主催 日本語ワープロ検定3級、表計算検定3級 ・ 介護事務管理士技能認定試験《5,500円》

対応職務		介護保険制度の各種サービスにおける介護員、障害者施設の介護員、医療施設の看護補助者		
訓練の内容	科目		科目の概要	時限数
	学	介護福祉士実務者研修	人間の尊厳と自立、社会の理解、介護の基本、コミュニケーション技術、介護過程、こころからのだしきみ、発達と老化の理解、認知症の理解、障害の理解、医療的ケア 等	242
		介護事務	介護保険制度のしくみ、介護サービス計画の作成、介護給付費の請求、介護給付費明細書記載要領、サービス提供指定事業者等の開設に伴う申請、社会福祉と人間関係 等	42
		その他	社会、体育、キャリア形成、安全衛生、事例検討 等	48
	学科計			332
	実技	介護福祉士実務者研修	コミュニケーション技術、生活支援技術、こころからのだしきみ、介護過程、医療的ケア 等	195
施設実習		施設・居住型実習、通所・小規模多機能型実習、訪問介護実習等	70	
パソコン実習		Windowsの操作、Wordの操作、Excelの操作	45	
その他		介護技術、安全衛生作業法 等	29	
実技計			339	
合計				704

※訓練内容を変更する場合があります。

年度	R03	R04	R05	<主な就職先> サンキ・ウエルビイ(株)、(福)優輝福祉会、(医)岡崎医院、(福)甲奴福祉会、(福)相扶会、(福)備北福祉会、(福)ともえ会、(一社)N Sライフ、(福)わかば会、(医)吉川医院、(株)ディア・レスト三次、(福)甲山会、(福)ちとせ会、(医)微風会、(福)三篠会、(福)しらゆり会、(株)Gトラスト、J Aひろしま、(旬)ブレイクスルー、等
修了者就職率	71%	79%	78%	



施設介護員の仕事について

※出典：job tag（厚生労働省職業情報提供サイト（日本版O-NET））

どんな仕事？

高齢者や、障害があり自立して日常生活を送ることが困難な人になど、社会福祉施設に入所したり通所で利用する人々の世話をし、話し相手ともなる。

基本的な仕事は、施設の利用者がより自立した生活を送れるよう、援助していくことである。

生活全般の自立が難しい場合には、食事、入浴、排泄の世話をはじめ、身体を動かす必要のあるときには介助し、清潔を保つなど、様々なケアをする。目の不自由な人には、読み書きの代行をしたり、歩行が不自由な人には車椅子を押すなど日常生活を助ける。

単に介助をするだけでなく、本人の能力や気分を引き出すように働きかけ、レクリエーションを計画したり、周りとのコミュニケーションをとって楽しく前向きに暮らせるようにすることも大切である。

介護の記録をつけたり、報告書や会議を通して、生活相談員（生活支援員）、看護師、栄養士、調理員といったスタッフと連携をとり、チームワークで仕事を進める。

タスク（職業に含まれる細かな仕事）

- ・利用者の状況に応じて身体介助や生活全般の援助をする。
- ・老人福祉施設で健康状態や残存能力に応じた介助や生活支援をする。
- ・利用者の気分気力や能力を引き出すために、施設でのレクリエーションを計画し、実行する
- ・利用者の自立に向けて日課や訓練を考える
- ・必要に応じて利用者の家族への連絡や調整をする。
- ・看護職員や医療機関との連携や調査をする。
- ・障害者福祉施設で障害の状況を踏まえた介助や生活支援をする。
- ・学校と連絡を取り、児童福祉施設にいる児童の発達段階や個性に応じた生活指導をする。

就業するには？

入職にあたって、特に学歴や資格は必要とされないが、大学や専門学校等で社会福祉について学び、介護福祉士等を取得した人の就職が多い。

高齢者や障害のある人など、日常生活や心身の機能に困難のある人と接することが多いため、それぞれの状況について深い知識と理解が必要である。また、障害の内容や程度について正確に知っていること、すべての利用者に公平に接していくことが求められる。利用者を介助するための体力と責任感も必要である。

労働条件の特徴

高齢者や障害のある人のための施設などが職場であり、多くは老人福祉施設で働いている。特に、社会全般の自立が難しい高齢者や認知症の高齢者を主な対象とする特別養護老人ホームで働いている人が多い。この他、介護保険制度に基づく介護老人保健施設、介護医療型施設（病院）でも多くの介護職員が働いている。

就業者の平均年齢は約47歳で、女性比率は約74%となっている（2022年10月時点）。

24時間介護サービスを提供している施設が多いため、交代勤務や夜間勤務がある。介助の仕事は、寝たきりの人の向きを一定時間ごとに変えたり、ベッドから起こしたり、入浴の手伝いをしたり、身体を拭いたりするなど、体力が必要な動作が多い。

人口の高齢化に伴い、高齢者介護に対する需要は更に高まることが予想され、障害者のための施設に対する需要も高い。介護人材の大幅な不足に対応するため、介護保険による事業所への介護報酬の改定もたびたび行われており、人材確保や処遇改善を目的として、一定の要件を満たした介護事業所への加算手当が拡充されるなど、労働環境や賃金の改善が図られている。

統計データ（広島県）

就業者数	：	33,090 人	年 齢(平均)	：	44.2歳
労働時間(月間)	：	167時間	求人賃金(月額)	：	18.3～22.3万円
賃 金(年収)	：	372.1万円	有効求人倍率	：	3.02